

2019年度 京都文教大学 京都文教短期大学

教育、心理、社会、福祉…
本学の特色のある
幅広いテーマで
教育力を高める
講座を開講!

教員免許状更新講習 夏期募集のご案内

予約受付期間

2019年5月26日(日)～5月28日(火)〈先着順〉

Webサイトからお申し込みください▶ <http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/>

〈問い合わせ先〉 京都文教大学 教員免許状更新講習係

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80 TEL:0774-25-2433 FAX:0774-25-2498 e-mail:koshin-kbg@po.kbu.ac.jp
受付時間:月～金 9:00～17:00 (土・日・祝日および大学で定める業務休止日は窓口業務を行っておりません)



2019年度 京都文教大学・京都文教短期大学 教員免許状更新講習のご案内

ごあいさつ

2007年6月の教育職員免許法改正により、2009年度から教員免許更新制が新しく導入されました。

この制度を受け、京都文教大学・京都文教短期大学では「必修領域」「選択必修領域」「選択領域」の3領域について講習を実施いたします。本学の特色ある研究・教育活動の成果を活かした講習を通して、皆さまの知見を深めていただけることを願っております。

皆さまの受講をお待ちしております。

京都文教大学

京都文教短期大学

アクセス 京都文教大学・京都文教短期大学 宇治キャンパス

〈問い合わせ先〉

京都文教大学 教員免許状更新講習係

〒611-0041 京都府宇治市榎島町千足80

TEL: 0774-25-2433 FAX: 0774-25-2498

e-mail: koshin-kbg@po.kbu.ac.jp

http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/

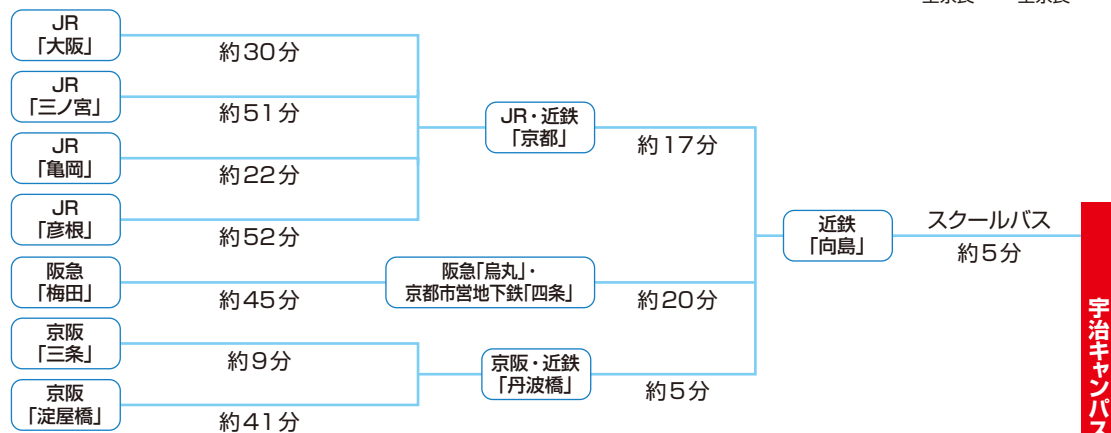
受付時間: 月～金 9:00～17:00

(土・日・祝日および大学で定める業務休止日は窓口業務を行っておりません)

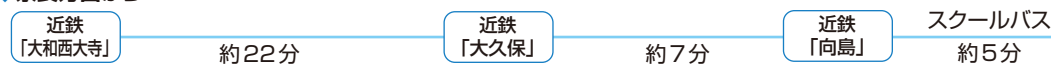
●近鉄向島駅からのアクセス



◆大阪・神戸・京都・滋賀方面から



◆奈良方面から



※近鉄京都線は京都市営地下鉄に乗り入れしています。 ※近鉄「向島」駅から本学のスクールバスが往復で運行しています。

教員免許状更新講習一覽

●講習はすべて宇治キャンパスで実施します。

必修領域 全ての受講者が受講する領域

講習No.	講習の期間	講習の名称	主な受講対象者	担当教員	定員
H01	2019年 7月27日(土)	【必修】教育の最新事情(初等教育)	幼稚園・小学校教諭、 養護教諭、栄養教諭	寺田 博幸 中島 千恵 田中 亨胤	80人
H02	2019年 7月27日(土)	【必修】教育の最新事情(中等教育)	中学校・高等学校教諭、 養護教諭、栄養教諭	大西 巧 南本 長穂 松田 美枝 田中 亨胤	70人

選択必修領域 受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習No.	講習の期間	講習の名称	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員
SH01	2019年 7月30日(火)	【選択必修】生徒指導・教育相談に生かす 新しい児童生徒の理解	特定しない	小学校・中学校・ 高等学校教諭	香川 克	50人
SH02	2019年 7月31日(水)	【選択必修】国際理解教育	特定しない	中学校・高等学校教諭	奥野 克己 澤 達大 山本 晃輔	60人
SH03	2019年 8月2日(金)	【選択必修】地域資源を活用した学校、 家庭及び地域の連携	特定しない	幼稚園・小学校・ 特別支援学校教諭	岡本 淨実	40人

選択領域 受講者が任意に選択して受講する領域

講習No.	講習の期間	講習の名称	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員
S01	2019年 7月20日(土)	【選択】気付きの質が高まり、 学ぶ意欲が育つ生活科学学習の展開	教諭	小学校教諭	寺田 博幸	50人
S02	2019年 7月26日(金)	【選択】NIE・新聞活用講座	教諭	小学校・中学校教諭	橋本 祥夫	36人
S03	2019年 7月26日(金)	【選択】「音遊び」や「音楽づくり」を 通して育む子どもの力	教諭	幼稚園・小学校教諭	堀内 詩子 牧野 淳子	25人
S04	2019年 7月30日(火)	【選択】授業と学級経営の相乗効果で 子どもの可能性を伸ばす	教諭	小学校教諭	大前 暁政	70人
S05	2019年 7月30日(火)	【選択】体育の授業や部活動における 熱中症予防対策	教諭 養護教諭	中学校・高等学校教諭、 養護教諭	久米 雅 山下 篤央	30人
S06	2019年 8月1日(木)	【選択】「資質・能力」を育む 算数科の授業づくり	教諭	小学校教諭	亀岡 正睦	30人
S07	2019年 8月1日(木)	【選択】文化の継承を考える —宇治の文学と鶴飼を手掛かりに—	教諭	幼稚園・小学校・中学校・ 高等学校教諭	千古 利恵子	50人
S08	2019年 8月2日(金)	【選択】家族システムから 子どもの課題と家族支援を考える	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園・小学校・中学校・ 高等学校教諭、養護教諭、 栄養教諭	柴田 長生	50人
S09	2019年 8月6日(火)	【選択】博物館を教育に活かすには： 北欧の取り組み	教諭	小学校・中学校教諭	古川 まゆみ	50人
S10	2019年 8月6日(火)	【選択】教師と子どものための メンタルヘルス	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校・中学校・ 高等学校教諭、 養護教諭、栄養教諭	松田 真理子 平尾 和之	150人
S11	2019年 8月8日(木)	【選択】絵本、再発見	教諭	幼稚園・ 小学校(低学年)教諭	三林 真弓	24人
S12	2019年 8月8日(木)	【選択】子どもの表現活動を導く 音あそび	教諭	幼稚園教諭	岩佐 明子	30人
S13	2019年 8月8日(木)	【選択】リスク教育の視点から 食育を捉える	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校・中学校教諭、 養護教諭、栄養教諭	田中 恵子	35人

※必修領域及び選択必修領域については、どのような免許状を持っている場合でも、それぞれの領域で開設されている講習の中からそれぞれ6時間以上を満たすよう講習を受講してください。選択領域については、新免許状(2009年4月1日以降に初めて授与された免許状)と旧免許状(2009年3月31日以前に授与された免許状)の場合で扱いが異なりますので、文部科学省HP等で各自でご確認ください。

※同一講習を複数回受講することはできません。昨年度と同名の講習および下記の講習は原則同一内容となりますので、履修証明書で履修済みの方をご確認の上お申し込みください。

※講習名称を変更(内容は原則同一)

2018年度<夏期>「【選択】音遊びや創作活動を通して育む子どもの力」⇒2019年度<夏期>「【選択】「音遊び」や「音楽づくり」を通して育む子どもの力」

2018年度<夏期><秋期>「【選択】宇治の文化と文学」⇒2019年度<夏期>「【選択】文化の継承を考える—宇治の文学と鶴飼を手掛かりに—」

受講申込から履修認定までの流れ①

受講申込は全て先着順で受け付けます。下記の流れに沿って、Webからお申し込みください。
※電話でのお申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。

注意事項

- 先着順の受け付けとなりますので、特に受け付け初日は大変混雑いたします。
- 他の受講希望者のご迷惑となりますので、受講の意志が不確定な段階での仮押さえや、受講が必要な講習数以上の大量予約はおやめください。
- 予約受付期間終了後の辞退はおひかえください。学校行事等やむを得ない事情で受講を辞退される場合には、必ずお電話にてご連絡ください。
- 受講料の納入や書類の返送等の期限は厳守してください。やむを得ない事情で期限に遅れる場合には、必ずお電話にてご連絡ください。

Webから

1 利用者登録

〈登録期間〉4月1日(月)～5月28日(火)

〈URL〉<http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/>

京都文教大学・京都文教短期大学のホームページから教員免許状更新講習サイトに入り、「更新講習システム」にお入りください。

新規に利用者の登録を行い、IDを取得してください。

→詳しい登録方法は「Webから 利用者登録(個人情報の登録)方法」をご覧ください。

※昨年度以前にご登録いただいた方も、新たに今年度のIDを取得してください。



2 講習予約

〈受付期間〉5月26日(日)7:00～5月28日(火)24:00

〈URL〉<http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/>

1. で取得したIDとパスワードを使ってログインし、講習ごとに予約を行ってください。

→詳しい予約方法は「Webから 講習予約の方法」をご覧ください。

※講習はすべて先着順で受け付けします。

※受講のキャンセルは、予約申込期間内はWebから可能ですが、受講のご意向が不確かな段階での仮押さえやキャンセル前提の予約はご遠慮ください。

※予約受付期間後の辞退はおひかえください。やむを得ない事情で辞退される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。



受講申込から履修認定までの流れ②



- 3 受講者登録票等受領** 6月4日頃、本学よりご登録いただいたご住所宛に発送します。
- ①受講者登録票 ②受講対象者証明書 ③受講料振込依頼書 ④事前アンケート など



- 4 受講料の振り込み** 6月24日(月)納入期限
- 本学から送付する振込依頼書に記載された銀行口座へ受講料をお振り込みください。
※やむを得ない事情で受講を辞退される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。



- 5 書類の送付** 6月24日(月)締切(本学必着)
- ①受講者登録票 ②受講対象者証明書
③受講料納付書 ④事前アンケート
- ※やむを得ない事情で受講を辞退される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。



- 6 受講案内および受講票等の受領** 7月5日頃、本学より発送します。
- 受講案内および受講票等の書類を送付します。



- 7 講習受講** 7月20日(土)～8月8日(木)
- 講習当日は、必ず受講票を持参してください。



- 8 履修証明書受領** 9月20日(金)までに、本学より発送します。
- 各講習終了時の修了認定試験の結果により、履修が認定された講習の履修証明書を送付します。
- ※夏期のすべての講習終了後、まとめて発送します。
※免許更新の手続きに関するお問い合わせは、勤務地の都道府県教育委員会(現職教員以外の方は、住所地の都道府県教育委員会)へお願いいたします。

Webから 利用者登録(個人情報の登録)方法

①利用申し込み

画面左側の【利用者登録】をクリックしてください。

②利用規約・個人情報取扱内容の確認

画面の利用規約および個人情報保護について内容を確認し、同意いただける場合、【同意する】をクリックしてください。

③受講者情報登録

必須項目(*のついた項目)の入力をしてください。ここで入力されたパスワードは、本システムへログインする際に必要となりますので、忘れないようにしてください。

④登録情報の確認

入力が完了したら【確認】ボタンを押してください。エラーが出た場合は、エラー内容が表示されますので修正をしてください。エラーがない場合は、登録情報の確認画面に移ります。内容に間違いがなければ【登録】ボタンを押してください。

⑤登録完了

ログインに必要な受講者IDが発行されます。今後ログインする際に必要となりますので、必ず控えてください。
また、受講者登録完了のメールが送信されます。

① ログイン

画面中央の欄に受講者ID、パスワードを入力し、【ログイン】をクリックしてください。

② 講習の検索

【講習検索ページへ】をクリックして、講習検索画面に移動してください。

③ 検索条件入力

講習を指定せずにすべて表示する場合は、なにも入力せずに【検索】ボタンをクリックしてください。

④ 検索結果一覧

検索結果が表示されますので、予約をしたい講習の【講習予約受付中】をクリックしてください。

⑤ 予約

画面右下にある【予約する】をクリックしてください。

⑦ 予約完了

予約が完了すると、予約完了画面が表示されます。また、予約完了のメールが送信されます。なお、予約済みの講習の一覧はマイページで確認できます。

⑥ 予約の登録

お申込される講習に間違いがなければ、【登録】をクリックしてください。受講申込規約の確認後、【同意する】をクリックすると予約が完了します。複数の講習を予約される場合は、この流れを繰り返してください。

講習No.
H01
必修

【必修】教育の最新事情(初等教育)

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年7月27日(土)**

受講料 **6,000円**

定員	時間数	試験方法	寺田 博幸 (臨床心理学部教育福祉心理学科教授)
80人	6時間	筆記試験	
講習の概要 「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの領域に関する教育課題について、昨今の状況や動向をもとに、学校教育全体からの視点と初等教育(幼稚園・小学校)の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は、幼稚園及び小学校教諭、養護教諭、栄養教諭とする。			
			中島 千恵 (臨床心理学部教育福祉心理学科教授)
			田中 亨胤 (兵庫教育大学名誉教授、京都文教短期大学非常勤講師)

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)	5限 16:30~17:00(30分)
AI時代における「生きる力」と新たに求められる能力・資質 近年の教育政策の国際的動向、日本における幼児期の教育・保育要領、新学習指導要領総則の趣旨などを踏まえ、AI時代における「生きる力」と新たに求められる能力・資質について考察する。	教員スタンダードとしての専門的職能性と倫理性 教員に求められる教育実践力の向上につながる基本視座について確かめる。社会変化の現実を受けとめるとともに、教員が身につける「子ども観」「発達観」「教育観」、教員としての倫理性や品格などの諸点から、専門職者としての教員のスタンダードについて省察する。	幼児期、児童期における子どもの発達への理解と子どもの育ちに対する支援の重要性 幼児期から児童期における子どもの発達について理解するとともに、社会や家庭環境の変化に伴う子育て支援の必要性や発達障がいの子どもの理解と支援について、臨床心理学的な視点から考察する。	「子どもが互いに認め合い、高め合う学級集団づくり」の取組と教師の役割 個が存在感を実感するとともに、互いに認め合い、高め合う学級集団を形成するため、教師が果たすべき役割や個への働きかけについて、以下の視点から考察する。 ・学校教育目標の具現化と学級経営の構想 ・学級集団づくりと教科等の指導	修了認定試験

講習No.
H02
必修

【必修】教育の最新事情(中等教育)

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年7月27日(土)**

受講料 **6,000円**

定員	時間数	試験方法	担当 講師	南本 長穂 (臨床心理学部教育福祉心理学科教授)
70人	6時間	筆記試験		大西 巧 (臨床心理学部臨床心理学科教授)
講習の概要				松田 美枝 (臨床心理学部臨床心理学科准教授)
「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの領域に関する教育課題について、昨今の状況や動向をもとに、学校教育全体からの視点と中等教育(中学校・高等学校)の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は、中学校及び高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭とする。				田中 亨胤 (兵庫教育大学名誉教授、京都文教短期大学非常勤講師)

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)	5限 16:30~17:00(30分)
教員スタンダードとしての専門的職能性と倫理性 教員に求められる教育実践力の向上につながる基本視座について確かめる。社会変化の現実を受けとめるとともに、教員が身につける「子ども観」「発達観」「教育観」、教員としての倫理性や品格などの諸点から、専門職者としての教員のスタンダードについて省察する。	配慮を要する子どもたちへの個別教育・支援 特別支援教育が学校教育法に位置づけられ、障害をもつ子どもたちに対する個別的な教育や支援が行われるようになっていく。本講習では、個別教育・支援の具体例を取りあげ、アセスメントや支援方法について受講者とともに考えた上で、分かりやすく解説する。	学校教育における個を生かす人間関係づくり論 20世紀末から今世紀にかけての教育問題は不登校いじめに代表されるように、他者とのかかわりのあり方に起因している。また、今日の教育課題の1つであるコミュニケーション能力の育成といったこともこれに関連している。本講義では、生徒の生活の現状を踏まえて、学校教育の場での人間関係づくりを考える機会としたい。	新しい学びへの対応 学習指導要領の改訂に、教師はどう対応していけばよいか。研修機会を通じ積極的に情報を集め、実践を積み重ねることが大切である。また組織力を生かした協働の学びなど、創意・工夫が求められる。この講習では、国内外の教育改革の動向を共有し、新しい学びについて受講者間の情報交換を交えて再考する場としたい。	修了認定試験

講習No.
SH01
選択必修

【選択必修】生徒指導・教育相談に生かす 新しい児童生徒の理解

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年7月30日(火)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **特定しない**

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	香川 克(臨床心理学部臨床心理学科教授)

主な受講対象者 小学校・中学校・高等学校教諭

講習の概要 教育相談的な関わりの中で生まれた新しい児童生徒の理解について、教育現場に即した形で示すとともに、児童生徒に対して働きかける方法について考えを深めていきます。不登校・発達障害・いじめ・保護者への関わりなどを取り上げます。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:50(60分)
児童生徒理解と「こころ」の理解 学校現場の中で子どもたちを理解する上で、子どもたちの内界を理解していくことの重要性について論じます。学校臨床心理士(スクールカウンセラー)として私が活動する中で感じた、臨床心理学と学校教育のそれぞれの立脚点について理解を深められればと思います。	不登校の子どもたちの理解に向けて 近年、不登校の現れ方が急速に変化してきています。非行との境目がはっきりしなくなっているなど、これまでの「不登校＝さなごの状態」という理解だけでは対応できない場合も多いようです。こうした変化の背景となる社会的状況にも言及しながら、「新しい不登校像」の理解を目指します。	学習になじめない子どもたちの理解に向けて 教室での学習になじみにくい子どもたちに対して、「発達障害」の観点からの理解が深められています。実際に学校現場の中では、「発達障害」という要因と、それ以外の要因とは混在していて、理解と対応が難しい場合が多いようです。このような複雑な状況の中にいる子どもたちへの理解を目指します。	保護者への理解と関わりに向けて 子どもたちを抱える環境としての「家庭」の中に、様々な困難がある場合が確実に増加しています。その中で、保護者の方々も様々な苦勞をしておられるのですが、その姿は学校からはなかなか見えにくくなっています。保護者を理解しながら一緒に子どもたちのことを考えていくためには何が必要なのか、考えていければと思います。	修了認定試験

講習No.
SH02
選択必修

【選択必修】国際理解教育

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年7月31日(水)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **特定しない**

定員	時間数	試験方法	担当講師
60人	6時間	筆記試験	奥野 克己(総合社会学部総合社会学科教授) 澤 達大(総合社会学部総合社会学科准教授) 山本 晃輔(京都文教大学非常勤講師、大阪大学人間科学研究科未来共創センター専任講師)

主な受講対象者 中学校・高等学校教諭

講習の概要 従来より、「総合的な学習」や「社会科」などの授業を中心に、各校で国際理解教育や異文化教育が実践されてきた。しかし、国際化や多文化化が今後さらに進展していく中で、外国籍生徒への対応などの場面で、新たな対応能力を求められることが予想される。本講習では、最新の国際理解教育の事情を幅広く紹介し、異文化理解の事例としてイスラーム社会を中心に理解を深め、今後の学校現場でのあり方を考えていく。

1限 9:00~10:10(70分)	2限 10:20~11:40(80分)	3限 12:40~13:50(70分)	4限 14:00~15:20(80分)	5限 15:30~16:00(30分)	6限 16:10~16:40(30分)
国際理解教育の概要 1974年のユネスコ勧告の採択以降、国際理解や国際協力、国際平和のための教育は、総合的な学習などで取り組まれてきた。近年は、多文化教育やESD(持続可能な開発のための教育)など、その教育は多岐にわたっている。本時では、国際理解教育の概要を把握し、現状を理解していく。	多文化共生社会の現状と学校現場 日本で暮らす外国人が増加し、その国籍も多様になっている。幼稚園や学校には、外国にルーツのある児童の教育とともに、たとえ国籍や文化が異なっても誰もが暮らしやすい地域住民の一員として活躍できる多文化共生の地域づくりの拠点となることが期待されている。そうした教育現場における取り組みと課題について考える。	異文化理解の方法(イスラーム文化を中心に) 中東およびイスラームをめぐる紛争報道が続いている。ここからは、イスラームの基礎理解をめざす。イスラームは精神面だけでなく生活全般、社会のあり方を扱う「生きる指針」といわれる。講師の30年におよぶ中東研究(文化人類学的フィールドワーク)により、人びとのイスラーム実践を具体的に伝える。	異文化理解の方法(イスラーム文化を中心に) 3限の講義にそって「国際理解教育」を考える。グローバルな時代において観光客のみならず仕事やいろいろな目的で人びとは移動している。ムスリム(イスラーム教徒)も同じである。そこでイスラームの食規制(ハラールとハラーム)を理解し、どのように向き合えばよいかを考える。	国際理解教育グループでの振り返り 1限~4限の講習内容や、受講生がこれまで各学校で取り組んで来た実践事例について、グループの中で共有する。そして、これからの時代の国際理解教育について、それぞれの現場の実情にあわせて考えを深める。	修了認定試験

講習No.
SH03
選択必修

【選択必修】地域資源を活用した学校、 家庭及び地域の連携

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年8月2日(金)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **特定しない**

定員	時間数	試験方法	担当講師
40人	6時間	筆記試験	岡本 浄実(臨床心理学部教育福祉心理学科准教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校・特別支援学校教諭

講習の概要 本講習では、学校、家庭及び地域の連携及び協働を取り上げる。講義では、現代社会と近年の学校を取り巻く状況の変化及び各地での地域連携の実践事例を解説する。また、「資源」をキーワードに市民・行政・学校と連携した1実践から地域と連携及び協働を考える。演習では、素材・資源のアレンジや円形のシートを用いたグループワークを体験する。

1限 9:00~10:40(100分)	2限 10:50~12:00(70分)	3限 13:00~14:30(90分)	4限 14:40~15:50(70分)	5限 16:00~16:30(30分)
地域資源・素材を活用する 集団活動の導入としてアイスブレイクを体験する。また、地域資源・素材をアレンジし活用する視点から日常にある様々な道具を使って「半分できて半分できない」をキーワードに演習を行なう。	家庭・地域の協働及び実践の事例から 健康・街づくり・学校・子育て支援等のキーワードから家庭・地域の協働及び実践事例を解説する。	資源がなくなると、ふるさと再生プロジェクトの舞台裏 “資源を子どもに残したい”と思った一人の市民の実践例を紹介する。たったひとりの活動に同じ思いの仲間が集まり、行政・教育機関が共に活動するまでにいたった舞台裏から、連携の難しさと魅力について考える。	“えんたくん”を用いたグループワーク 地域資源の活用や地域との連携には、情報交換が重要である。円形のシート“えんたくん”を活用したグループワークを体験する。グループワークのテーマ(つなぐ、再生、地域資源、情報共有など)から意見を出し合う方法を学ぶ。	修了認定試験

備考 本講習は1限目体育館にて演習を行います。
体育館シューズをご持参のうえ動きやすい服装(パンツスタイル)でお越しください。

講習No.
S01
選択

【選択】気付きの質が高まり、 学ぶ意欲が育つ生活科学習の展開

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年7月20日(土)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	寺田 博幸(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

主な受講対象者 小学校教諭

講習の概要 生活科の教育原理を踏まえ、気付きの質を高め、学ぶ意欲を育てる生活科学習について、理論と子どもの実際の姿から学びます。子どもに取り組みせたいという教師の願いと子どもが「やってみたい、やってみよう」という思いをすりあわせながら、探究活動の醍醐味を味わわせる指導と評価について考察していきます。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
生活科の教育原理と生活科で育てる力 生活科の教育原理を踏まえ、子どもの思考の流れを大切に単元構想について考察していきます。	学ぶ意欲を育てる生活科の実践 対象とかかわりながら学ぶ意欲を高めていく子どもへの支援と評価について考察していきます。	主体的に学び、気付きの質を高める生活科学習の展開 子どもの主体的な学びが、気付きの質を高め、そうした一連の営みから、さらに学ぶ意欲が喚起されていきます。この時間では、子どもの探究心をわきたたせる“学び”について探っていきます。	まとめと修了認定試験 生活科の指導と評価の一体化についてまとめ、修了認定試験を実施します。

講習No.
S02
選択

【選択】NIE・新聞活用講座

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 2019年7月26日(金)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
36人	6時間	筆記試験	橋本 祥夫(臨床心理学部教育福祉心理学科准教授)

主な受講対象者 小学校・中学校教諭

講習の概要 NIE(教育に新聞を)について、学校教育におけるNIEの意義や授業での新聞活用を解説します。また、各教科での新聞活用の仕方・授業の方法などについてのワークショップ・演習を通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。現場の授業にすぐ役立つ内容です。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
学校教育におけるNIEの意義 学校教育におけるNIEの意義、学習指導要領における新聞活用の位置づけについて解説します。また、各教科における代表的な新聞活用例を紹介します。	新聞活用ワークショップ 新聞を活用した授業をワークショップ形式で体験します。グループでディスカッションをしたり、全体で意見交流をします。	新聞を活用した授業づくり・教材作成演習1 グループによる協同で新聞を活用した授業づくりと教材作成の演習を行います。グループで教科、単元を設定し、各グループに配布された新聞を使って、教材を作成し、授業の計画を立てます。グループで考えた授業プランは模造紙にまとめます。演習を通して、新聞を授業でどのように活用できるのかを考えます。	新聞を活用した授業づくり・教材作成演習2 グループで考えた授業プランを発表し、交流します。各グループの授業プランをもとに、新聞を活用した授業実践のポイントを解説し、日々の授業実践での新聞の活用方法を探ります。	まとめ・修了認定試験 本日の講習を踏まえた論述式の筆記試験を実施します。

備考 はさみ、スティックのりをご持参ください。

講習No.
S03
選択

【選択】「音遊び」や「音楽づくり」を通して育む子どもの力

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 2019年7月26日(金)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
25人	6時間	筆記試験	堀内 詩子(臨床心理学部教育福祉心理学科講師) 牧野 淳子(京都文教大学非常勤講師・元京都市立芸術大学音楽学部教職課程特任講師)

主な受講対象者 幼稚園・小学校教諭

講習の概要 音楽は楽曲の演奏だけではなく、「音遊び」や「音楽づくり」の創作活動において、誰もが創造性を発揮できる教科です。午前は、臨床心理学的観点から音遊びの土台となる感覚について体験的に学び、午後は、音遊びや即興表現ワークショップにおいて、「音楽づくり」への道しるべとなる創造プロセスを共有体験します。これらを通して、子どもの成長と創造性について探究していきます。専門的な知識・技能等は必要ありませんので、どなたでも安心して受講いただけます。

1限 9:00~10:15(75分)	2限 10:25~11:40(75分)	3限 12:40~14:00(80分)	4限 14:10~15:30(80分)	5限 15:40~16:30(50分)
成長と音楽 子どもの成長に欠かせない音楽。しかし子どもの成長にどう関わっているのか、具体的にには見えにくい教科でもあります。「出来てうれしい」というよるごびに加えて、人間がもともと持っている音との関わりをキーワードに音楽療法・臨床心理学的な観点をういながら考えていきます。	音をイメージし、受け取ること 音遊び、創作遊びは、非言語のコミュニケーションが土台となり展開されます。相手が音をどのように感じているのか、発しようとしているのか、「相手の音を受け取る」という土台の大切さを体験的に学びます。	音遊び・即興表現ワークショップ 身のまわりの様々な音で即興表現したり、音遊びを体験しながら、それらの展開方法を工夫することを通して、創作活動の意義と可能性について探究します。	音遊び・音楽ゲームから音楽づくりへ 楽しみながら自然に音楽の要素や仕組みに出会える「音楽ゲーム」から「音楽づくり」へと展開させる活動を体験します。さらには、グループで音楽をつくることにより、授業における創造的な活動の学習指導過程について学びます。	修了認定試験 本講習で学んだことを、教育実践にどのように活かせるかレポートを作成します。

備考 2018年度<夏期>「【選択】音遊びや創作活動を通して育む子どもの力」と原則同一内容です。

講習No.
S04
選択

【選択】授業と学級経営の相乗効果で 子どもの可能性を伸ばす

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年7月30日(火)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
70人	6時間	筆記試験	大前 暁政(臨床心理学部教育福祉心理学科准教授)

主な受講対象者 小学校教諭

講習の概要 よい学級は、子どもが生き生きと過ごし、自分の可能性を伸ばしているという実感をもっています。そのような学級を創り出すための、授業や学級マネジメントの方法を紹介します。現場から生じる様々な問題、教師の悩み等を踏まえながら、理論だけでなく現場ですぐに役立てられる実学を修得することを目的としています。学級経営と授業を関連させていくことで、相乗効果が得られることを、実例をもとに解説します。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
学級マネジメントの方法論と実践 学級経営の筋道を、「学級のシステムづくりと学級の成長段階」、「マネジメントサイクル」、「個々の子どもへの目標意識のもたせ方、差別いじめ防止法」の三つに分けて理論を紹介するとともに、実践について解説する。	学級経営と授業を関連させ、相乗効果を生み出す方法 学級経営の中で設定した個々の子どもへの目標を実現していくための、授業における役割を紹介する。また、子どもを伸ばすための授業のやり方の基礎技能を解説し、演習を通して体験的に授業の方法論を学ぶ。	配慮を要する子への対応法と授業技術 特別支援を要する子どもや、生徒指導上問題を抱えた子どもに対して、どのようにアプローチしていくかを、目標像の設定と、日々の指導記録、フィードバックサイクルなどの観点をもとに解説する。	まとめ・修了認定試験 学級マネジメントの理論をもとにして、実際に自分の学級でどのような目標と手立てが考えられるのかを演習してまとめとする。最後に、マネジメントの理論や授業理論、発達障害などの知識や技能について、試験を行う。

講習No.
S05
選択

【選択】体育の授業や部活動における 熱中症予防対策

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年7月30日(火)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
30人	6時間	筆記試験	久米 雅(京都文教短期大学食物栄養学科准教授) 山下 篤央(京都文教短期大学ライフデザイン学科准教授)

主な受講対象者 中学校・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要 ①本講座ではヒトの体温調節機構、運動時の水分出納や夏季の運動に相応しい服装を学ぶことにより、体育の授業や部活動における熱中症予防の方法を修得する。
②夏季の部活動においては、身体を環境に順化させ、効果的な練習やフィジカルトレーニングを行うことが求められることから、本講座では、競技スポーツの指導の側面から、暑熱順化トレーニングの方法を修得する。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
ヒトの体温調節機構 1. ヒトの体温調節機構(行動性体温調節と自律性体温調節) 2. 発汗の機序と効果(体温上昇と脱水) 3. 運動時の水分出納(運動時の飲水量と水分バランス)	熱中症発症の機序と予防方法 1. 熱中症発症の機序(高体温と脱水) 2. 熱中症発症の事例(環境評価、暑熱順化) 3. 熱中症予防のための方法(水分摂取、運動時間及び着衣)	運動と暑熱順化 1. 暑熱順化のメカニズム 2. 暑熱順化による生理学的調整、反応及び効果	暑熱順化ストラテジー 1. 暑熱順化トレーニング 2. 暑熱順化トレーニングの事例(様々なスポーツセッティングでのトレーニング方法)	修了認定試験

講習No.
S06
選択

【選択】「資質・能力」を育む 算数科の授業づくり

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年8月1日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
30人	6時間	筆記試験	亀岡 正睦(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

主な受講対象者 小学校教諭

講習の概要 「アクティブラーニング」と「見方・考え方」をキーワードに、「資質・能力」を育てる小学校算数科の授業の理論と実際について実践的に学びます。「数学的活動」による小学校算数科の授業改善について具体的に解説します。小学校算数科における内的活動と外的活動双方に目を向け、「主体的・対話的で深い学び」を実現する算数科の学習指導法「ALふきだし法」について解説します。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~12:00(90分)	3限 13:00~14:30(90分)	4限 14:40~16:20(100分)
数学的「見方・考え方」と「資質・能力」の育成法 「資質・能力」を育むための「数学的活動」を重視した授業改善の意味とその実際について概説します。キーワードは「Aha!算数」「数学的活動」「見方・考え方」「活用力」です。	数学的活動とアクティブラーニング 外的な数学的活動の実際を体験することを中心に進めます。体を使ったり、切ったり貼ったり、さまざまな作業的・体験的活動を教師自らが経験することで、子ども達に体感、実感させ納得理解させる方法を体得できます。	「ALふきだし法」とはどのような指導法か 「ALふきだし法」について概説します。ノートへの記述表現活動に着目し、思考力・表現力、筋道だった説明ができる言語力を育成する新しい授業デザインと評価法についてアクティブラーニングの観点から解説します。	まとめと修了認定試験 新しい学習指導要領に準拠した算数科の授業づくりについて総括した上で、修了認定試験を実施します。

備考 はさみ、セロテープをご持参ください。

講習No.
S07
選択

【選択】文化の継承を考える —宇治の文学と鵜飼を手掛かりに—

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年8月1日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	千古 利恵子(京都文教短期大学幼児教育学科教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭

講習の概要 我が国の伝統や文化を尊重する心を育成するためには、教員自身が日本の伝統や文化について関心を深めることが重要である。本講習では、宇治の風景・人々の暮らしを伝える資料や文学作品などを鑑賞しながら、日本文化の昔と今を検証し、「次世代に伝える文化」について考える。なお、伝統文化継承の今日的課題を明らかにするために、宇治の伝統文化の一つ「鵜飼」を取り上げる。課題提示にあたり、ゲストスピーカーに鵜匠を迎え、鵜飼の現状を知る時間を設ける。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
宇治の昔と今 —文学に描かれた宇治— 古典文学には、宇治を舞台にした出来事や風景が描かれている。その中から代表的な作品を選び鑑賞することを通して、宇治の地の昔と今を比べる。	伝統文化の継承 —宇治川の鵜匠を招いて— 伝統文化の継承は、学校教育においても重んじられている。今回は、宇治の文化継承者である鵜匠の話をもとに、「伝えたい文化とは何か」「継承にはどのような課題があるのか」を検証する。	伝統文化と人々の暮らし 時代を問わず、人々の暮らしは生活する土地の文化と深くかわり、影響を受けるのだろう。世界遺産の保存という社会的使命を担う宇治が、現在宇治に住む人の暮らしに影響をあたえているのか、考えてみる。	まとめと修了認定試験

備考 2018年度<夏期><秋期>「【選択】宇治の文化と文学」と、原則同一内容です。

講習No.
S08
選択

【選択】家族システムから子どもの課題と 家族支援を考える

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 2019年8月2日(金)

受講料 6,000円

対象職種 教諭、養護教諭、栄養教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	柴田 長生(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭

講習の概要

子どもは家族とともに成長します。そして、子どもの問題や課題は、子どもが属する家族システムの「一つのあらわれ」であることが少なくありません。教師が子どもに関する様々な問題事象に取り組むには、家族の問題を避けて通ることができません。この講座では、家族を「システム論」の立場からとらえ、子どもの課題が示す意味やその対応について、また、そのために必要な家族理解と家族支援について考えます。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
家族システムを「見立てる」視点 人は一人で生活していません。家族という「人の束」は、子どもの育ちや心の支えにとってとはりわけ重要です。子どものことを考えるために、家族全体を捉える視点(システム論)への理解を深めます。	「ある家族関係の風景」を感じ取る 子どもの問題や課題は、大人の問題や課題と大きく関係することが少なくありません。夫婦・家族・親子の間で生じる様々な事柄を時系列的にながめながら、「システム論」的な視点から考察を深めます。	行き詰まった家族コミュニケーション 家族は、コミュニケーションによって支えられ、相互理解と関係が深まります。しかし、殺伐としたコミュニケーションしかとれない家族も少なくありません。ロールプレイで、ある疑似家族の会話を体験学習します。	家族理解と支援の糸口 教師が課題のある子どもを指導する場合、「家族」を避けて通ることは出来ません。効果のある指導を実現させるために、「家族システム論」に基づいていくつかの方法を提示し、受講者と共に「有益な支援」のあり方について考えます。	修了認定試験

講習No.
S09
選択

【選択】博物館を教育に活かすには： 北欧の取り組み

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 2019年8月6日(火)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	古川 まゆみ(総合社会学部総合社会学科准教授)

主な受講対象者 小学校・中学校教諭

講習の概要

北欧諸国には、博物館と連携した学校教育が伝統的に行われてきました。特に野外博物館では、子どもの来館者を意識し、子どもたち用の解説書や、子どもの目線にたった教材を発行しています。誰でも博物館に行くと、「楽しく」勉強できるのです。本講座ではこの取り組みを紹介いたします。特に世界で初めて創設されたスウェーデンのストックホルムにある野外博物館「スカンセン」を軸にし、学校教育の中に博物館を活用する可能性について考えてみます。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:10(60分)	3限 11:20~12:20(60分)	4限 13:20~14:20(60分)	5限 14:30~15:30(60分)	6限 15:40~16:40(60分)
はじめに：博物館と子どもたち 最初に本講座全体の概要を説明いたします。その上で、国内外において博物館が子どもたちにどのような教育プログラムを提供しているか、また、北欧諸国では博物館と学校が歴史的に深いつながりを持ってきたこともスウェーデンを例にお話しいたします。	スカンセンとは？ スウェーデンの首都、ストックホルムにある野外博物館「スカンセン」を紹介いたします。ここは19世紀末にできた世界で初めての野外博物館で、動物園を併設し、老若男女を問わず、1年中、訪問客が絶えません。スカンセンの創設経緯、館内概観、主な展示物、案内スタッフ、年間プログラムなどを通して、博物館が「子ども」をどう意識しているのかを探ってみようと思います。	スカンセンで学ぶ①：子ども向けの出版物から スカンセンが作成した子ども向けの出版物を紹介いたします。子ども自身が一人で学ぶことができるもの、教師用の教材となるものなど、さまざまです。あわせて北欧の他の野外博物館の教材も紹介いたします。	スカンセンで学ぶ②：年間プログラムから スカンセンでは年間を通して、多くの催し物が開催されます。子ども向け用のプログラムはもちろんのこと、一般向けプログラムにおいても子どもたちが楽しめるものは多いです。これらを検討し、博物館が「楽しい学びの場」になっていることをお話しいたします。	おわりに：博物館を学校教育に活かすには これまで紹介した事例をもとにあらためて博物館を学校教育に活かす可能性について考えてみます。スウェーデンには、伝統的に教材を「ものがたり」など親しみやすいものから取ってききましたが、そこには学びの根拠に楽しさが不可欠であることを意識していたといえます。これはスカンセンとも共通することで、今後の教育を考えるヒントを与えてくれると思います。みなさんと意見交換をしたいと思います。	修了認定試験 筆記試験をいたします。

講習No.
S10
選択

【選択】教師と子どものための メンタルヘルス

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年8月6日(火)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭、栄養教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
150人	6時間	筆記試験	松田 真理子(臨床心理学部臨床心理学科教授) 平尾 和之(臨床心理学部臨床心理学科教授)

主な受講対象者 小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭

講習の概要 小・中・高校時代は、様々な対人関係を通して社会性を身につけながら、一方で「自分らしさ」という個性を形成していく心理的課題に満ちた時期です。この時期には、身体的・社会的にも大きな変化をとめない、精神的不調が起こりやすくもあります。本講習では、この時期に子ども達が直面する様々な心理的課題や精神的不調、孤食や不規則な食生活に纏わる課題、摂食障害など精神・身体面での問題、そして子ども達を育み守る教師自身のメンタルヘルスについて、その理解と具体的な対応・援助を学びます。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)	5限 16:30~17:00(30分)
子どもの発達課題と心の不調 学童期・思春期の各年代における発達課題と心の不調についてエリクソンのライフサイクル理論と精神医学の観点からお話しいたします。	学校現場における課題と具体的な対応 学童期・思春期の子どもの精神的な不調に対する具体的な対応、学校現場での課題、父母への対応と支援、医療機関との連携、教職員自身のメンタルヘルスなどにつき、演者のスクールカウンセラーとしての経験を踏まえながらお話しいたします。	教師の精神的な不調の理解と援助 教師に起こりやすい精神的な不調(ストレス関連、不眠、不安、うつ)の理解と援助について、精神科医としての経験を踏まえながら、お話しいたします。	子どもの精神的な不調の理解と援助 学童期・思春期の子どもに起こりやすい精神的な不調(発達障害・虐待にともなう問題、自律神経症状、不安・うつ、摂食障害、そしていま話題の精神病様体験まで)の理解と援助について、精神科医としての経験を踏まえながら、お話しいたします。	修了認定試験

講習No.
S11
選択

【選択】絵本、再発見

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年8月8日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
24人	6時間	筆記試験	三林 真弓(臨床心理学部臨床心理学科教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校(低学年)教諭

講習の概要 子どもに関わる媒体として、絵本はとても身近なものでしょう。講習では、一方的な読み手から解放され、改めて絵本の魅力を再発見できる機会を提供したいと思います。臨床心理学的な視点を通して、いろいろな角度から教育現場での絵本の効果的な活用法に迫ります。読み聞かせの実践も行います(幼稚園・小学校低学年向け)。日頃から絵本が好きな方、絵本についてディスカッションをしたい方にご参加いただきたく思います。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:00(80分)	3限 13:00~14:40(100分)	4限 14:50~16:20(90分)
絵とストーリーが生まれる源泉を知る 描画法のひとつであるスクイグルを体験し、創造する(想像する)力を養う。	絵本について知識を深める 絵本について大脳生理学的・臨床心理学的な観点からレクチャーを行う。絵本作家がどのような意図で絵本を作っているかを理解し、特に読み聞かせをしてもらう子どもがどのように絵本をみているのかについて理解を深める。	絵本の読み聞かせの実践 学内の図書館に移動し、絵本を選書する。2人ないしは3人で絵本の読み聞かせの実践を行う。読み聞かせをしてもらう側の立場に立つことで、普段気づいていないことに気づくこと、さらに読み聞かせを受講者同士で行うことで、普段の読み聞かせの良さあるいは癖などに気づくことを目的とする。	全体の振り返りと修了認定試験 全体を振り返っての質疑応答を行い、本日の講習を踏まえた論述式の筆記試験を受ける。

備考

「お気に入りの絵本」「受講者の皆さんに是非紹介したい絵本」がありましたら、ご持参ください。あれば、で結構です。

講習No.
S12
選択

【選択】子どもの表現活動を導く 音あそび

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年8月8日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
30人	6時間	筆記試験	岩佐 明子(京都文教短期大学幼児教育学科講師)

主な受講対象者 **幼稚園教諭**

講習の概要 本講習では、子どもの音に対する感性を育み、音楽的な表現活動を援助する方法について学びます。具体的には、鍵盤楽器を用いた伴奏法や、グループワークで音あそび・楽器あそびなどを実践し展開方法を考察します。受講者自ら音楽の楽しさや喜びを体験することも目的としています。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:50(100分)	3限 12:50~13:50(60分)	4限 14:00~15:40(100分)	5限 15:50~16:30(40分)
子どもの音楽的な表現活動 子どもの音楽的な表現活動(「うたう」、「きく」、「ひく」、「うごく」、「つくる」)を、年齢による身体的成長・心理的発達をとらえて学びます。	子どもの歌の伴奏法 子どもの歌を用いて、それぞれの演奏力に応じた伴奏法を学びます。コードネームを基礎から学び、伴奏形のヴァリエーションを知ること、状況に応じて即興的に演奏できる力を養います。	子どもと音あそび 様々な音あそびの実践をとらえて、音に対する感性、リズム感、ビート感などを養います。	子どもと楽器あそび 保育・教育現場で使用されている楽器の特性を知り、楽器あそびの展開方法を考えます。器楽合奏における効果的な編曲法も学びます。	修了認定試験

講習No.
S13
選択

【選択】リスク教育の視点から 食育を捉える

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年8月8日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭、栄養教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
35人	6時間	筆記試験	田中 恵子(京都文教短期大学食物栄養学科教授)

主な受講対象者 **小学校・中学校教諭、養護教諭、栄養教諭**

講習の概要 リスク社会と言われる現代において、子ども達の生きる力として、多様なリスクに対応する力、リスクリテラシーを養成することが求められる。本講座では、食生活のリスクをとりあげ、食事・栄養のとり方と食品がもつ危害因子(ハザード)の二つの視点からリスクマネジメント力を身に付ける方法を考える。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~12:10(120分)	3限 13:10~15:10(120分)	4限 15:20~16:20(60分)
食生活におけるリスク分析の考え方(講義) ①食育における食の安全の問題 ②ハザード、リスクおよびリスク分析とは ③リスクの情報を活用する	食事・栄養のとり方による健康リスク(講義・演習) ①栄養バランスの良い食事とは ②データに見る学童期から青年期の食生活の課題 ③栄養のとり方で低減化できる健康リスク ④演習：栄養成分表示の活用など(果汁と清涼飲料水、など)	食品がもつハザードによる健康リスク(講義・演習) ①食品のハザード：生物学的因子、化学的因子、物理的因子 ②食のリスクに合理的に対応するための基礎となる考え方 ③安全・安心な食生活をおくるために身に付けたい習慣 ④演習：クロスロードゲームを通してリスクコミュニケーション力を身に付ける	修了認定試験

受講に関する注意事項

当日受付について

- ・受講できるのは申込者本人のみです。代理受講はできません。
- ・受講には受講票が必要です。
- ・講習当日は各講習の開始30分前から教室を開場し、受付を開始します。
- ・申し込み後に送付する受講案内に記載されている教室へ直接お越しいただき、受付をお済ませください。
- ・講習は定められた時間数を受講する必要がありますので、遅刻・早退・欠席は認められません。
- ・講習の一部あるいは全部を欠席された場合、修了認定試験を受けることができません。
- ・交通機関の乱れなどにより開始時間を繰り下げることがあります。

受講上の注意

- ・事前に準備物が示されている講習を受講される場合は、各自でご確認の上、当日持参してください。
- ・各講習の終了後、事後評価およびアンケートを実施しますのでご予定ください。
- ・受講中の録音・録画および写真撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・スマートフォンの電源は必ずお切りいただくか、マナーモードに設定しておいてください。
- ・キャンパス内での喫煙は、指定された場所でのみ可能です。学内の指示に従ってください。
- ・貴重品は各自の責任において管理してください。万が一盗難等の事故が発生した場合も、本学は責任を負いかねます。
- ・講習受講中(会場までの移動を含む)の保険は、受講者の判断により各自ご加入ください。
- ・学内には受講者用駐車場はありません。公共交通機関をご利用になるか近隣有料駐車場をご利用ください。
- ・当日は、原則として学生食堂は営業しておりません。昼食は各自ご用意いただくか近隣の飲食店をご利用ください。
- ・なお、昼食をご持参された場合には、教室を昼食場所としてご利用いただけます。

講習の休講について

- ・交通機関の不通と気象警報発表による場合の休講・講習時間の繰り下げ基準は下記の通りです。

対象交通機関	近鉄京都線で向島駅を含む区間	
気象警報発表対象区域	京都府南部	
対象気象警報	警 報：暴風警報、暴風雪警報 特別警報：大雨特別警報、暴風特別警報、 大雪特別警報、暴風雪特別警報	
運行再開の時刻および 警報解除時刻	開始する講習	備考
7:00まで	予定通り実施	運行状況等で講習開始時間に間に合わない場合はご連絡・ご相談ください。
8:00まで	開始時刻を1時間ずらして実施	
9:00まで	開始時刻を2時間ずらして実施	
9:00以降	休講	

- ・「宇治市榎島町」に災害対策基本法に基づく「避難指示」・「警戒区域指定」が発令された場合も対象となります。

受講料等

- ・受講料には会場までの交通費、食費、宿泊費は含まれておりません。
- ・やむを得ない事情で受講を辞退される場合には、必ずお電話にてご連絡ください。
- ・講習前日(大学休日を除く前日)17:00までに辞退の申し出があり、所定の手続きを取っていただいた場合は、振込済の受講料を返金します。自己都合による講習当日の受講辞退の申し出については、返金の対象となりません。
- ・返金の際には、1講習につき事務手数料として1,000円を頂戴し、振込済の講習料から差し引いた金額を返金いたします。
- ・返金に際しては、本学所定用紙による申請が必要となります。返還手続を完了するまで日数がかかりますがご了承ください。
- ・入金を確認できる書類(領収書等)は、講習修了まで大切に保管してください。

障がいがある受講者の方へ

- ・障がいがある方や病気等により受講に特別な措置を希望される方は個別にご相談に応じます。必ずお申し込み前にご連絡いただきますようお願いいたします。

個人情報保護について

- ・お預かりします個人情報については、以下の目的に則して利用するとともに、本学の個人情報保護指針に基づき適正な保護に努めます。

利用目的	①応募に関する連絡および送付物発送 ②受講料の納入および管理 ③講習の実施・運営・修了認定 ④各種統計・調査・取組評価 等
------	--

- ・個人情報保護の観点から、講師や他の受講生の連絡先等のお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。
- ・本講習の記録のため、写真やビデオ撮影を行い、ガイドランスやWeb上で利用することがありますので、ご了承ください。
- ・本学の個人情報保護への取組の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

〈京都文教大学〉

http://www.kbu.ac.jp/kbu/intro/privacy_policy.html

システムに関するFAQ

Q 電話で申し込みできますか。

→ 電話での申込受付は行っておりません。Webからお申し込みください。

Q 受講者IDを忘れました。

→ お手数ですが、教員免許状更新講習係までお電話にてお問い合わせください。

Q 現在勤務先がありません。受講者情報登録画面の「勤務先名」「勤務先電話番号」をどう入力すればいいですか。

→ 「勤務先名」には、勤務予定先か直近で勤務していた勤務先名または講師登録をした教育委員会名を、「勤務先電話番号」にはご自宅あるいは携帯電話の番号を入力してください。

Q 受講者ID、パスワードを入力してもログインできません。

→ 大文字・小文字と全角・半角の別を正しく入力してください。
なお受講者IDは、「 19 kbu ●●●●●」です。
(半角数字)(半角小文字)(半角数字)

Q 昨年度までに取得した受講者IDは使用できますか。

→ 年度ごとにIDが異なりますので昨年度以前の受講者IDはお使いいただけません。新たに今年度のIDをご登録ください。

講習に関するFAQ

Q 更新に必要な時間数を自由に受講してもいいですか。

→ 必修領域及び選択必修領域については、どのような免許状を持っている場合でも、それぞれの領域で開設されている講習の中からそれぞれ6時間以上を満たすよう講習を受講してください。選択領域については、新免許状(2009年4月1日以降に初めて授与された免許状)と旧免許状(2009年3月31日以前に授与された免許状)の場合で扱いが異なりますので、文部科学省HP等で各自でご確認ください。なお、受講が必要な講習数以上のご予約は、他の受講希望者の迷惑となりますのでおやめください。

Q 1つの大学で30時間分の講習を受講しなくてもはいけませんか。

→ 複数の大学でも受講することができます。例えば、「必修」領域の6時間分をA大学、「選択必修」領域の6時間分をB大学、「選択」領域のうち6時間分をC大学、12時間分をD大学で受講することも可能です。もちろん、1つの大学で全ての講習を受講してもかまいません。

Q 駐車場は利用できますか。

→ 学内には受講者用駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用になるか近隣有料駐車場をご利用ください。ただし、自転車の駐輪場はご利用いただけます。お身体に障がいがある方や怪我をされた方など特別な事情がある場合には、事前にご相談ください。

Q スクールバスは利用できますか。

→ 原則として講習開催日は、近鉄「向島」駅から本学までのスクールバスを運行しております。ただし、本数が限られますので、時間には余裕を持ってお越しください(スクールバスの時刻表は受講票発送時に同封します)。

Q 大学の学生食堂は利用できますか。

→ 日程により営業している期間もございますが、学生が集中するため大変混雑いたします。できるだけ、各自で昼食をご持参いただくか、大学近隣の飲食店をご利用ください。

受講資格・講習義務の有無・更新講習修了確認の申請等については、免許管理者へお問い合わせください。

免許管理者は以下の通りです。

●現職教員の方 … 勤務地の都道府県教育委員会 ●現職教員以外の方 … 住所地の都道府県教育委員会

その他ご不明な点は、文部科学省HPまたは免許管理者にてご確認ください。